

心と記憶に残る音楽体験を伝えよう

～大切な事はピアノから教わった～

子どもたちの大好きな動物、その中でも自分たちの知らないうちに命の危機にさらされている“絶滅危惧種”をテーマにした曲を通して、ただ曲を弾く(聴く)だけでなく「自分の心がどう動いたか」を体験することを目的としています。演奏を通して感情に触れる機会をつくり、それをきっかけに環境のことや社会のこと、自分たちに何ができるかを継続的に考え、未来にも目を向けてもらえたらと思います。

大人になっても、ピアノを辞めても心に残る、そんなレッスンや発表会、コンサート作りのお手伝いができれば嬉しいです。



春畑セロリ

(はるはた セロリ)

映像、イベントの音楽制作や、出版のための作曲、執筆、CD・音楽ソフトのプロデュースなどを数多く手がける。

主な著作物:「できるかなひけるかなシリーズ」「連弾パーティーシリーズ」「きまぐれんだんシリーズ」(以上、音楽之友社)、ピアノ曲集「ぶらぶ～らの地図」(全音楽譜出版社)、こどものためのピアノ曲集「ひなげし通りのピム」(カワイ出版)、「春畑セロリの連弾アラカルト」「ちびっこ・あんさんぶるシリーズ」(以上、ヤマハミュージックメディア)。児童合唱曲に「キャプテン・ロンリーハート」「雨の樹のドラゴン」(教育芸術社)。書籍に「白菜教授のミッドナイト音楽大学」(あおぞら音楽社)などがある。

<http://www.trigo.co.jp/celeri/>

<講座内容>

◆絶滅危惧種って！？ ピアノ教室にできること

◆子どもたちの興味を惹きつける

イラストやエピソードを効果的に使った、レッスンに消極的な子へのアプローチ

◆発表会やイベントでの活用法

- ・講師演奏で、簡単にメッセージ性のある企画作り
- ・生徒に弾いてもらい、グループなどで調べ学習に

ご家族で聴いてもらえる発表会は、うってつけのチャンス。特別な空間を作り、親子で話すきっかけや、いつまでも思い出に残る発表会を作りましょう！地域のこども向けイベントや学校、施設などのプログラムとしても同様に活用できます。

一例のご紹介 ラッコ

水族館でも人気者のラッコ。でも絶滅の危機にあることを知らない子も多いのでは？

元を辿れば毛皮欲しさに人間が乱獲し始め、数が減少したことがきっかけですが、100年程前に条約が結ばれ一時は回復しました。しかしその後漁業用の網にひっかかり溺死したり、原油流出事故による大量死など、今でも人間が原因となる減少問題は解決されていません。

●日 時

●テキスト

『ゼツメツキグシュノオト』(音楽之友社)

※当日、会場で販売いたします

●会 場

●受講料 (税込)

●お問合わせ・お申込み先

●使用機材

ピアノ、ホワイトボード、CDプレイヤー、スクリーン

キリトリ線

春畑セロリ公開講座

行 FAX.

申込日 月 日

年 月 日()

心と記憶に残る音楽体験を
「ゼツメツキグシュノオト」

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	会 員 ・ 一 般		

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。